

カトリック豊中教会 広報誌 第29号 クリスマス・新年号



コイノニア

2024年2月18日発行

発行者：主任司祭
印刷：広報委員会

〒560-0021 豊中市本町6丁目1番6号
TEL 06-6852-4110 FAX 06-6852-4277
HP: <http://catholictoyonaka.holy.jp/>

コイノニア(κοινωνία)はギリシャ語で聖霊の交わり・(初代)教会の交わりを意味します。

「参加することに意義がある」

年初に、皆さん宛に「耐震工事献金及び維持費のお願い」のお手紙を書きました。豊中教会の聖堂は、献堂80年を超え、耐震補強工事が必要となっております。耐震の設計が済み、今からは実際の工事が始まります。そのための献金をお願いするお手紙です。耐震補強工事も大切ですし、教会の維持も大切です。

そういえば、コロナの影響もあって、洗礼を受けられた後の教会活動への説明の機会を失っていました。以前からの信徒の方もそうですが、洗礼を受けて新しく信者になられた方にも教会活動への積極的な参加をお願いしたいと思っております。

教会の活動には、ミサなどの典礼、子どもたちとともに学ぶ教会学校、教会フェスタなど楽しい企画を考え実施する行事、皆さんに捧げていただいた浄財を管理する財務、今回の能登地震への募金を担当する社会活動、教会報であるコイノニアやホームページを担当する広報、信徒ではない方々へキリスト教を告げ知らせる宣教司牧、建物や庭を維持管理する営繕などの委員会があります。

一人一役として、いずれかの委員会に積極的に参加していただきたいと思っております。参加して感じられた教会の活動についてご意見を聞かせてもらえると嬉しいです。

そしてその活動を支える資金が必要で



す。献金なしには、どの活動も成り立ちません。聖堂でのミサの時には電灯も点けますし、エアコンも動かします。そのような日常活動維持のための費用、光熱費も必要です。

維持費は毎月100円からでも良いのですが、教会の一員という自覚を持った維持費であってほしいです。日曜日には教会へと足を運び、色々な役割に手を出し、意見を口にしていた

だいて、よりよい教会をともに作るお手伝いをお願いいたします。

手のかかる子どもほどかわいいと言います。それはおとなしい子供よりも、その子どもによけい手間と時間をかけたからでしょう。どうぞ教会にも手間と時間をかけて、皆さんにとって本当に愛すべき教会に変えていただきたいと思っております。それが聖堂の改修以上に、神様が喜ばれる神様と私たちの「教会」かもしれません。

のだ まさひろ

主任司祭 アウグスティヌス 野田 正弘